

令和7年度 宮古島市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和8年5月

宮古島市（沖縄県）

○計画期間: 令和6年4月～令和11年3月(5年)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和7年度終了時点(令和8年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市は、令和6年3月に中心市街地活性化基本計画の認定を受け、高揚感と活気のあるまち“ひと+まち+みなと”賑わい繋ぐまちづくりをテーマに、「中心市街地とみなとまちの連携による満足度の高い交流機会の提供」、「訪れやすく、多彩なサービスを心地よく楽しめる商業空間の形成」、「誰もが住みやすく、安全・快適で利便性の高い居住環境の整備」の3つの基本方針のもと、同計画に掲げる事業に取り組んでいる。

中心市街地とみなとまちの連携については、中心市街地とクルーズ船のバースが近く、大型クルーズ船入港数の増加に伴って中心市街地への観光客の流入数は増加傾向にある。市街地とみなとまちの賑わいの連鎖と回遊性の確保に向けて順調である。しかし、臨港地区から中心市街地への路線バス等の公共交通機関が通っておらず徒歩やタクシー等でのアクセスのみになっているといった課題があるが、シェアサイクルの実証事業を行うなど課題の解消に向けて取り組んでいる。

誰もが住みやすく安全・快適で利便性の高い居住環境の整備については、基本計画にも掲載のある、根間公園整備事業の工事が完了し、周辺住民が暮らしやすい環境整備に向けて取り組んでいるところである。また、隣接するエコハウスと一体化をも視野に入れており、まちなか拠点の機能強化が見込まれる。

一方で、居住人口の増加・定住促進に資する一部事業においての進捗の遅延が生じるなど、課題も残されている。今後は状況の変化に応じた代替施策や、新たに居住促進へ寄与する事業の検討を進めていく必要がある。

このような課題が存在するものの、本年度は目標指標の達成に向けた取り組みが増えた年度となった。みなとまちの再整備事業や、根間公園とエコハウスの一体化など、中心市街地活性化に繋がる事業が進んでおり、一つ一つの事業成果を積極的に情報発信していくことで、中心市街地の活性化が市民や観光客に実感していただけるようにしていきたいと考えている。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(基準日：毎年度3月31日)

(中心市街地 区域)	令和4年度 (計画前年度)	令和6年度 (1年目)	令和7年度 (2年目)	令和8年度 (3年目)	令和9年度 (4年目)	令和10年度 (5年目)
人口	2,674	2,501	2,492			
人口増減数		△173	△9			
自然増減数		△73	△33			
社会増減数		△100	24			

2. 令和7年度を取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

令和7年度における宮古島市中心市街地活性化計画の進捗としては、行政による根間公園整備事業の進行が挙げられる。公園整備により中心市街地中央部に「賑わい拠点」となる空間核が誕生することが期待される。一方で、清掃や治安管理等に対して近隣住民や事業者から多くの意見があり、公園の管理運営体制の制度設計が急がれている。協議会としては、同空間を「市民参加型のまちづくり拠点」として活用することが有益であるとの方針に基づき、行政に対して公園および併設市有施設（エコハウス）を一体とした運営が可能な体制の構築を求めている。

中活計画における行政事業が順調に進む一方で、民間活力の活用による賑わい再生に向けた動きは鈍く、中心市街地エリアでは老朽化した建物の解体による空き地化が急速に進んでいる。今後は、まちづくり事業に対する民間事業者の参入促進に向けた支援策の整理を充実させる必要があり、民間事業者の積極的な参入を促進させる手法として「都市再生推進法人の認定制度導入」に対する協議促進に期待を寄せている。そのうえで中活協議会としては、賑わい再生に繋がる民間施設整備に対する補助メニュー等の整理と発信により、中活計画に対する民間事業者の参入を活性化する必要性を感じている。

また、観光客の来街者増加傾向が続く中で、車両と通行人の入り混じる危険な状況に対する改善の声が多くあり、協議会としては、まちづくりテーマの一つである「歩いて楽しいまち」の実現に向けた官民連携体制の強化が求めているほか、中心市街地での店舗リノベーション事業に対する支援策の構築を求める声も増えており、今後情報収集と協議を進めていきたい。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況※1	目標達成に関する見通し※2	
						前回の見通し	今回の見通し
まちなか拠点の機能強化とみなとまち整備による賑わいの創出	都市福祉施設・観光交流施設等の利用者数(人)	77,413(R4)	74,058(R10)	58,742(R7)	C	A	A
交通アクセスの向上と回遊性の高い空間整備による来街・滞在の促進	中心市街地の来街者数(バス停利用者数)(人)	5,214(R3)	6,537(R10)	9,906(R7)	A	A	A
都市機能の充実と住環境の整備によるまちなか定住の魅力向上	中心市街地の居住人口(人)	2,674(R4)	2,632(R10)	2,492(R7)	<u>C</u>	B	<u>C</u>

< 基準値からの改善状況(※1) >

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断

A : 目標達成、B : 基準値より改善、C : 基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類(※2) >

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A : 目標達成が見込まれる

B : 目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる

C : 目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない

※「< 基準値からの改善状況(※1) >」、< 目標達成に関する見通しの分類(※2) >ともに、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。(例 : a、b、c)

2. 目標達成見通しの理由

「都市福祉施設・観光交流施設等の利用者数」については、目標値より未だ、利用者数が少ないものの、公設市場の指定管理者制度では、令和8年度中に指定管理の選定を行う予定であり、民間活力によって活性化をはかれるよう取り組みを検討している。マティダ市民劇場では、令和7年度に改修工事等で劇場の利用ができない日が比較的多く見られたが、今後、利用可能な日の増加とともに、利用者数の増加も見込まれる。これからも継続的な取り組みを図ることで目標達成をする見込みがあると考えている。

「中心市街地の来街者数」については、前年度と同じく目標値を大きく増加し目標値を超える結果となった。バス停の利用状況では、公設市場を利用する人が令和6年度より大幅に増えていることが分かる。次年度では公設市場の指定管理制度の導入を検討しており、さらに中心市街地

への来街者数が増加する可能性が高いと考えられる。入域観光客数も増加傾向にあり、目標値の達成をさらに更新していく見込みである。今後も引き続き来街者数の増加に向けて滞在時間の増加も実現していきたい。

「中心市街地の居住人口」については、対策が進んでいないこともあり減少となった。今後、空き家対策事業やまちづくり会社主導による共同住宅供給事業などの住宅整備だけでなく、根間公園整備事業や旧平良庁舎利活用が進んでいく中で、安全で快適な利便性の高い居住環境を整備することで「住みたい」「住み続けたい」と思える中心市街地を作っていくのではないだろうか。まちなか居住の魅力を高めていくことで今後、人口が回復していく見込みがあると考えている。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

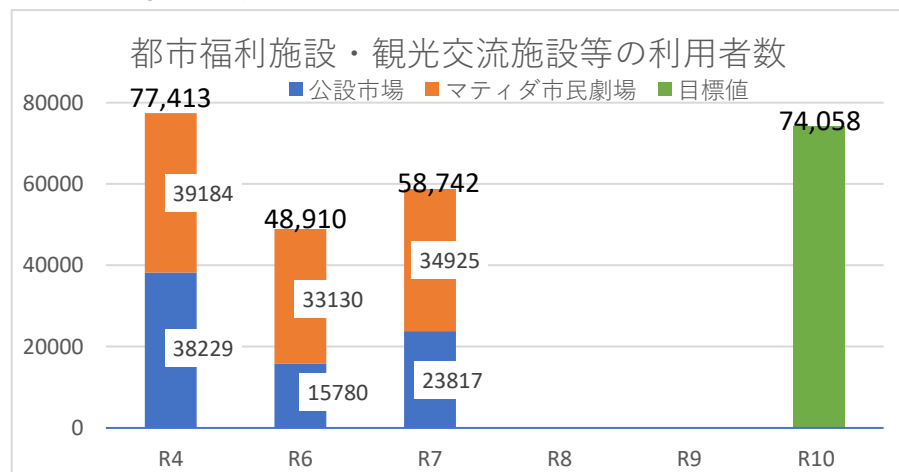
中心市街地の居住人口については、目標達成に資する事業である「(仮) 公営住宅及び公有地活用による定住促進策の検討事業」および「中心市街地共同住宅供給事業」において、関係者の協議や検討に時間を要している。その結果、現時点で計画の遅延や未着手が生じており、このままでは目標の達成が困難であると見込まれるためである。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) 「都市福利施設・観光交流施設等の利用者数」

※目標設定の考え方認定基本計画 P. 56 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
R4	77,413 (基準年値)
R6	48,910
R7	58,742
R8	
R9	
R10	74,058 (目標値)

※調査方法：公設市場は各事業者から提出される報告書により把握

マティダ市民劇場は委託業者からの報告書により把握

※調査月：令和7年4月～令和8年3月

※調査主体：公設市場は宮古島市観光商工スポーツ部観光商工課

マティダ市民劇場は宮古島市生涯学習部生涯学習振興課

※調査対象：公設市場は各事業所への来客数

マティダ市民劇場は来場者数

	令和4年度 (計画年度)	令和6年度 (1年目)	令和7年度 (2年目)	令和8年度 (3年目)	令和9年度 (4年目)	令和10年度 (5年目)

公設市場	38,229	15,780	23,817			
マティダ市民劇場	39,184	33,130	34,925			
合計	77,413	48,910	58,742			

(単位：人)

〈分析内容〉

前年度と同じく公設市場については各事業者からの報告に頼っているため、集計していないことや、未提出の月もあり来客数がR4年度に達していない。しかし、前年度より来客数が大幅に増えていることもあり、目標値には、達していないものの今後達成する見込みは十分にある。

マティダ市民劇場は、利用者が前年度よりも増加したが、あまり大きな変化は見られない。しかし、令和7年4月～5月初旬まで劇場設備の交換工事や令和7年7月、令和8年1月にも舞台メンテナンスがあり、劇場の使用ができない日が多々あった。当該の月を除く劇場の月平均利用者数は約3,500人のため、今後基準値を超える見込みはある。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 公設市場（指定管理者及びPFI導入可能性検討）（宮古島市）

事業実施期間	令和5年度～令和8年度【未】
事業概要	民間活力により活性化が図れるよう、指定管理またはPFI導入も含めて令和7年以降に具体的な取り組みを検討する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 36,838人 【最新値】 23,817人 現在は検討段階であり、事業者の決定などしていない状況であるため、利用者数は減少している。
事業の今後について	前年度、他市の視察を行っており、令和8年度中に指定管理者の選定を行う予定である。

② はりみず公園周辺の再整備（宮古島市）

事業実施期間	令和4年度～
事業概要	はりみず公園周辺における賑わい空間を創出する。キッチンカーの出店やイベントの開催などを実施する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 32,160人 【最新値】 ー人 再整備は進んでいないため、利用者数はいない状況である。再整備が進むことで、増加を見込んでいる。
事業の今後について	来年度以降実施予定

③ 根間公園整備事業（宮古島市）

事業実施期間	令和５年度～令和８年度【済】
事業概要	広場やベンチ等の休憩施設、トイレなどの便益施設や民間事業者及び観光客が集う交流イベント等の開催を想定し整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	沖縄振興特別推進交付金
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 32,160 人 【最新値】 — 人 整備は令和８年３月３１日に完了したところだが、供用開始が始まっていないため、最新値は計れない。
事業の今後について	令和８年５月３０日供用開始を行い、中心市街地活性化に寄与する施設となるよう活用していく。

④ 旧平良庁舎利活用検討・旧平良第２庁舎跡地利活用検討（宮古島市）

事業実施期間	令和３年度～令和７年度【済】
事業概要	市役所機能移転後の旧平良庁舎について、民間資金を活用した運用を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 54,397 人 【最新値】 — 人 現在、利活用事業者が決定し飲食業や、オフィス等として活用するために改修工事をし、開業に向けて調整を進めている。
事業の今後について	中心市街地のシンボルの一つになる事業となるよう、利活用方法を協議しながら、2026 年開業を目指す。

⑤ ひらりん公園の再整備（宮古島市）

事業実施期間	令和５年度～【実施中】
事業概要	はりみず公園周辺における賑わい空間を創出し、キッチンカーの出店やイベントの開催などを実施する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 207,840 人 【最新値】 — 人 ひらりん公園の民間活力による再整備事業の事業プロポーザルにおいて中活計画に沿った観光交流拠点整備の提案がなされ、まちなか集客施設整備にむけて順調に推移している。
事業の今後について	今後、施設整備に向けて協議を行い、事業完了に向けて事業を進

いて	めていく。
----	-------

⑥ 旧平良庁舎・旧平良第2庁舎跡地利活用事業（宮古島市）

事業実施期間	令和8年度～【実施中】
事業概要	市役所機能移転後の旧平良庁舎について、民間資金を活用した運用を行う。
国の支援措置名及び支援期間	特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業大臣認定
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 54,397人 【最新値】 —人 現在、利活用事業者が決定し飲食業や、オフィス等として活用するために改修工事をし、開業に向けて調整を進めている。
事業の今後について	中心市街地のシンボルの一つになる事業となるよう、利活用方法を協議しながら、2026年開業を目指す。

⑦ エコハウス（宮古島市）

事業実施期間	平成21年度～【実施中】
事業概要	宮古島市は2カ所、年間を通して湿度が高いため、四季に合わせて各方向の窓を開放して、風通しのいい住宅となっている。今後の使い方としてはコワーキング、シェアオフィスなど含め再検討をする。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 1,460人 【最新値】 —人 現在、宿泊施設として利用しているものの、宿泊者は少ない状況である。そのため、利用方法の再検討を行い利用者の増加を図る。
事業の今後について	今後、エコハウスとしての機能を停止し、根間公園と一体化をできないか協議していく

⑧ 都市再生整備計画の策定検討（宮古島市）

事業実施期間	令和5年度～【未】
事業概要	「都市再生推進法人」の認定制度を活用し、地域の特性や資源を最大限に活用して都市再生を進める計画を検討する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	現在、導入検討中であり、まちなか拠点の強化とみなと賑わいの創出に寄与する事業としていきたい。

況	
事業の今後について	次年度の導入を予定している

⑨ 商業施設の整備検討事業（宮古島市・民間事業者）

事業実施期間	令和5年度～ 【未】
事業概要	みなとと中心市街地の結節点として、飲食・専門店を中心とし、歩いて楽しめる商業スペース、ナイトスポットとしての魅力を備えた大人の社交空間を創出する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 1,161,795 人 【最新値】 — 人 現在、みなとまちづくり計画にて検討中であり、整備が終わり次第目標値に近づけるのではないかと考えている。
事業の今後について	宮古島市みなとまちづくり基本計画の事業とともに進んでく予定である。

⑩ みなとまち観光交流拠点の整備・運営事業（民間事業者）

事業実施期間	令和6年度～ 【未】
事業概要	中心市街地にレジャー施設を整備し、観光客の滞在時間における集客につなげる事業。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	現在、導入の可能性を含め検討中である。
事業の今後について	協議、検討を行っていく。

⑪ 商業施設等の再編・整備事業（まちづくり会社）

事業実施期間	令和6年度～ 【未】
事業概要	中心市街地に商業施設や複合施設を整備し、新たな賑わいを創出する事業。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	現在、導入の可能性を含め検討中である。

事業の今後について 協議、検討を行っていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

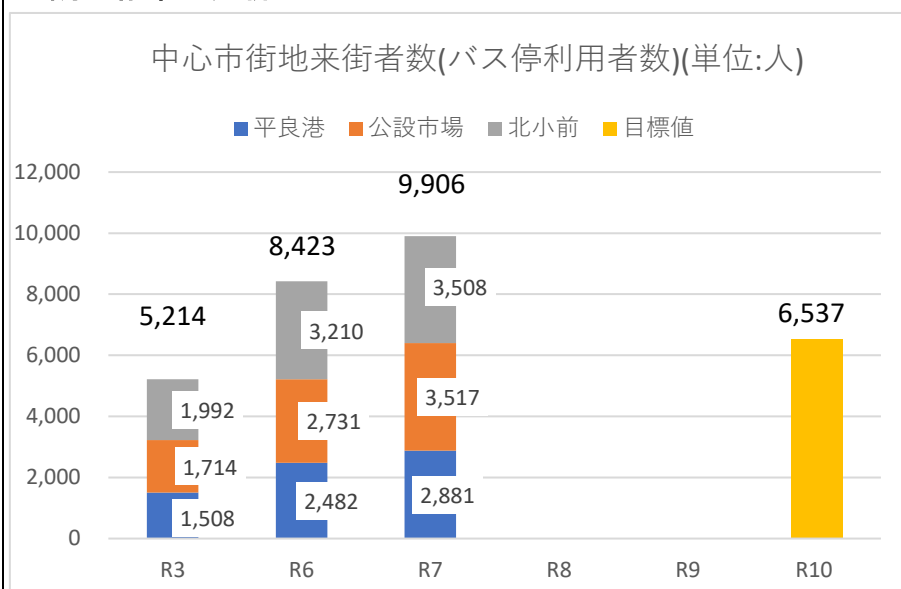
都市福祉施設・観光交流施設等の利用者数については、今後増加していく見込みである。公設市場の利用者数は前年度より増加しており、今年度から指定管理者制度の導入を検討し、充実した施設となり、来客数の増加をさらに見込めるのではないかと考えている。マティダ市民劇場では、利用できる日数を増やしていくことで目標値を達成可能であると考えている。

今後の対策としては、旧平良庁舎や根間公園など、他の都市福祉施設の充実によって、中心市街地を一体的に利用できるよう整備を進める対策をとることが必要であると考えている。

(2)「中心市街地の来街者数（バス停利用者数）」

※目標設定の考え方は認定基本計画 P. 59 照

●調査結果と分析



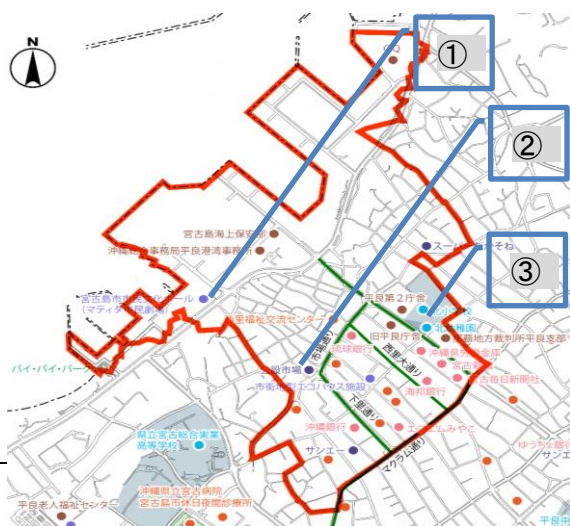
年度	(単位:人)
R4	5,214 (基準年値)
R6	8,423
R7	9,906
R8	—
R9	—
R10	6,537 (目標値)

※調査方法：中央交通株式会社による集計

※調査月：令和7年4月～令和8年3月

※調査主体：中央交通株式会社

※調査対象：中央交通株式会社の平良港、公設市場、北小前の乗車人数



中央交通株式会社バス停

① 平良港

② 公設市場

③ 北小前

(単位：人)	令和4年度 (基準年度)	令和6年度 (1年目)	令和7年度 (2年目)	令和8年度 (3年目)	令和9年度 (4年目)	令和10年度 (5年目)
平良港	1,508	2,482	2,881			
公設市場	1,714	2,731	3,517			
北小前	1,992	3,210	3,508			
合計	5,214	8,423	9,906			

〈分析内容〉

どのバス停も利用者数が基準年度より増加傾向になっており、R10年度の目標値を大きく超える結果となった。特に利用者数の増加が大きい公設市場のバス停においては、公設市場でのイベント開催実施が増えたことが利用の増加に寄与していると考えられる。今後、利用者数を増加させていくためのバス停の待ち時間の充実などの施策を行っていききたい。また、バスだけでなく様々な交通手段でのアクセスにも力を入れていく必要がある。

● 目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

① 旧平良庁舎利活用検討・旧平良第2庁舎跡地利活用検討（宮古島市）

事業実施期間	令和3年度～令和7年度【済】
事業概要	市役所機能移転後の旧平良庁舎について、民間資金を活用した運用を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 54,397人 【最新値】 — 人 現在、利活用事業者が決定し飲食業や、オフィス等として活用するために改修工事をし、開業に向けて調整を進めている。
事業の今後について	中心市街地のシンボルの一つになる事業となるよう、利活用方法を協議しながら、2026年開業を目指す。

② 公設市場（指定管理者及びPFI導入可能性検討）（宮古島市）

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	民間活力により活性化が図れるよう、指定管理またはPFI導入も含めて令和7年以降に具体的な取り組みを検討する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 36,838人 【最新値】 23,817人

況	現在は検討段階であり、事業者の決定などもししていない状況であるため、利用者数は減少している。
事業の今後について	前年度、他市の視察を行っており、令和 8 年度中に指定管理者の選定を行う予定である。

③ エコハウス（宮古島市）

事業実施期間	平成 21 年度～ 【実施中】
事業概要	宮古島市は 2 カ所、年間を通して湿度が高いため、四季に合わせて各方向の窓を開放して、風通しのいい住宅となっている。今後の使い方としてはコワーキング、シェアオフィスなど含め再検討をする。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 1,460 人 【最新値】 — 人 現在、宿泊施設として利用しているものの、宿泊者は少ない状況である。そのため、利用方法の再検討を行い利用者の増加を図る。
事業の今後について	今後、エコハウスとしての機能を停止し、根間公園と一体化をできないか協議していく

④ 根間公園整備事業（宮古島市）

事業実施期間	令和 5 年度～令和 8 年度【済】
事業概要	広場やベンチ等の休憩施設、トイレなどの便益施設や民間事業者及び観光客が集う交流イベント等の開催を想定し整備を行う。
国の支援措置名及び支援期間	沖縄振興特別推進交付金
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 32,160 人 【最新値】 — 人 整備は令和 8 年 3 月 31 日に完了したところだが、供用開始が始まっていないため、最新値は計れない。
事業の今後について	令和 8 年 5 月 30 日供用開始を行い、中心市街地活性化に寄与する施設となるよう活用していく。

⑤ ひらりん公園の再整備（宮古島市）

事業実施期間	令和 5 年度～【実施中】
事業概要	はりみず公園周辺における賑わい空間を創出し、キッチンカーの出店やイベントの開催などを実施する。
国の支援措置名	国の支援措置なし

及び支援期間	
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 207,840 人 【最新値】 — 人 ひらりん公園の民間活力による再整備事業の事業プロポーザルにおいて中活計画に沿った観光交流拠点整備の提案がなされ、まちなか集客施設整備にむけて順調に推移している。
事業の今後について	今後、施設整備に向けて協議を行い、事業完了に向けて事業を進めていく。

⑥ はりみず公園周辺の再整備（宮古島市）

事業実施期間	令和5年度～令和8年度 【未】
事業概要	はりみず公園周辺における賑わい空間を創出する。キッチンカーの出店やイベントの開催などを実施する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 32,160 人 【最新値】 — 人 再整備は進んでいないため、利用者数はいない状況である。再整備が進むことで、増加を見込んでいる。
事業の今後について	来年度以降実施予定

⑦ 商業施設の整備検討（宮古島市・民間事業者）

事業実施期間	令和5年度～ 【未】
事業概要	みなとと中心市街地の結節点として、飲食・専門店を中心とし、歩いて楽しめる商業スペース、ナイトスポットとしての魅力を備えた大人の社交空間を創出する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 1,161,795 人 【最新値】 — 人 現在、みなとまちづくり計画にて検討中であり、整備が終わり次第目標値に近づけるのではないかと考えている。
事業の今後について	宮古島市みなとまちづくり基本計画の事業とともに進んでく予定である。

⑧ 夏まつりの充実（宮古島商工会議所）

事業実施期間	平成17年度～【実施中】
事業概要	毎年7月下旬頃に、西里通り・下里通り・市場通りを歩行者天国に

	して開催される夏の1大イベントであり、花火大会の開催も予定している。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業
事業目標値・最新値及び進捗状況	毎年開催しており、島で希少性の高い花火をまつり内で実施することで、中心市街地への来街者数の増加に寄与している。現在中心市街地で開催している唯一の大型イベントであるため、来街者数が増加するよう検討を重ねる必要がある。
事業の今後について	持続的な各通り会の連携力・企画力向上を図る運営体制の構築を行っていき、来街者数の増加に向けて調整を進めていきたい。

⑨ 交通ターミナル整備検討業務（協議会・宮古島市）

事業実施期間	令和6年度～【未】
事業概要	公共交通機関を利用した中心市街地へのアクセス利便性を高めるため、交通ターミナル等の設置について検討を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	現在導入の可能性を含め検討中である。
事業の今後について	協議、検討を行っていく。

⑩ 街なかウォーカーブル推進事業（宮古島市・まちづくり会社・商店街連合会）

事業実施期間	令和6年度～【未】
事業概要	居心地が良く歩きたくなるまちづくりを目指し、歩行空間と滞在空間づくりを沿道商店街と一体となって進める事業である。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	現在、導入検討中でありまちなかへの回遊性の向上や滞在時間の増加に寄与する事業としていきたい。
事業の今後について	回遊性の高い空間や滞在時間の増加など、中心市街地への来街者の増加に寄与する事業とできるように検討していく。

⑪ 旧平良庁舎・旧平良第2庁舎跡地利活用事業（宮古島市）

事業実施期間	令和8年度～【実施中】
事業概要	市役所機能移転後の旧平良庁舎について、民間資金を活用した運用を行う。

国の支援措置名 及び支援期間	特定民間中心市街地経済活力向上事業計画の経済産業大臣認定
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 54,397 人 【最新値】 — 人 現在、利活用事業者が決定し飲食業や、オフィス等として活用するために改修工事をし、開業に向けて調整を進めている。
事業の今後について	中心市街地のシンボルの一つになる事業となるよう、利活用方法を協議しながら、2026 年開業を目指す。

⑫ 花いっぱい推進事業（宮古島市）

事業実施期間	平成 25 年度～【実施中】
事業概要	将来にわたって、花と緑で彩りあふれるかけがえのない美しい島づくりを目指すため、自治会・学校・企業・道路の里親等と連携し、花の苗の鉢植えや育苗した苗の植栽を実施する。
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	地域の自治会や学校、企業等と連携し、花苗の鉢植えの植栽活動を実施している。
事業の今後について	今後も各団体との連携を継続的に行い、中心市街地の回遊性向上やまちなかの魅力向上に資する緑化空間づくりを計画的に進め、都市機能の充実と地域活性化につなげていく。

⑬ 電気自動車普及事業（宮古島市）

事業実施期間	令和 5 年度～【未】
事業概要	先進的な EV 取組や重電インフラ整備により、市民等の自主的導入を促す事業
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	充電インフラの整備等や普及策の具体的な計画・検討を行い、今後の来街者や施設利用者の増加に寄与する事業としていきたい。
事業の今後について	交通アクセスの向上と回遊性の高い空間や滞在時間の増加など、中心市街地への来街者の増加に寄与する事業とできるように検討する。

⑭ 次世代交通（グリーンスローモビリティ）導入検討事業（協議会）

事業実施期間	令和 6 年度～【実施中】
事業概要	観光客がゆっくりと回遊できる交通手段として、グリーンスローモ

	ビリティの導入を検討する
国の支援措置名 及び支援期間	無線技術を活用した先進的な課題解決モデルの創出・横展開のための社会実証
事業目標値・最新値及び進捗状況	中心市街地の課題である回遊性や滞留性の確保、歩きやすさ向上に向けて、観光客が回遊できる次世代交通手段の導入検討実施中である。
事業の今後について	今後は実証を重ねて本格導入も視野に入れ、交通アクセス向上による観光交流施設の利用者数増加と中心市街地の活性化につなげていきたい。

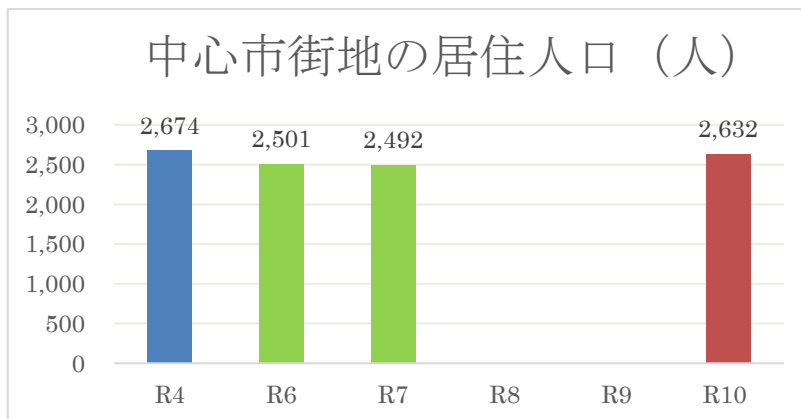
●目標達成の見通し及び今後の対策

すべてのバス停においても利用者数は増加しており、主要施設からのアクセスがしやすくなっていることによって、中心市街地への来街者数が増加していると考えている。主要事業は、まだ大きく進んではないため、整備等が進めば今後さらに来街者数が増加し賑わってくるだろう。

（３）「中心市街地の居住人口（人）」

※目標設定の考え方は認定基本計画 P. 56 参照

●調査結果と分析



年度	（単位：人）
R4	2,674 （基準年値）
R6	2,501
R7	2,492
R8	—
R9	—
R10	2,632 （目標値）

※調査方法：中心市街地に含まれる行政区で区域が一部のみ含まれる場合は住宅の延床面積により区域内外で人口を按分して算出した。

※調査月：令和7年4月～令和8年3月

※調査主体：宮古島市市民生活部市民課

※調査対象：中心市街地に含まれる行政区内の人口

〈分析内容〉

中心市街地の居住人口は前年度から減少している。前年度より引き続き宅地不足等への直接的な住居対策に関する施策を実施できなかったことが要因であると考えられる。今後、都市福祉施設の整備により生活利便性を高め、同時に空家対策事業による住居の供給を進めてくことでまちなかへの住み替えや居住需要が高まるため人口が増加してくるのではないかと考えている。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①（仮）公営住宅及び公有地活用による定住促進策の検討事業（宮古島市）

事業実施期間	令和６年度～【実施中】
事業概要	PFI 導入による公営住宅の活用及び公有地活用による民間賃貸住宅の整備促進など、若者の定住促進に資する方策の検討を行う。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【目標値】 60 人 【最新値】 ー 人 PFI 導入による再整備ではなく、市が再整備を行う計画の変更となった。
事業の今後について	令和 8～10 年度に A 棟の本体工事(令和 10 年度供用開始予定)、令和 12 年～14 年度に B 棟の本体工事(令和 15 年開始予定)、令和 16～17 年度に C 棟の本体工事(令和 18 年供用開始予定)を進め、順次供用開始を図る予定である。

② 空家対策事業（宮古島市）

事業実施期間	令和６年度～【実施中】
事業概要	若者向けの住宅の充実により、居住人口の増加に寄与する事業となるよう、空家実態調査を行うとともに、定住対策としての空家の具体的な利活用施策を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	空き家再生等推進事業費
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和６年度に空家等実態調査を行い、813 件の空家が抽出されている。調査の中で所有者や相続人の連絡先が判明した物が 200 弱であるため継続して連絡先の調査を進めていく。
事業の今後について	所有者や相続人等を確認後、個々の意向に沿って売却、賃貸、リフォーム等、空家の活用を進める予定である。また、利用したい方とのマッチングも行っていく。

③ 中心市街地共同住宅供給事業（まちづくり会社）

事業実施期間	令和６年度～【未】
事業概要	民間まちづくり会社が主体となり優良建築物整備事業（市街地住宅供給型中心市街地共同住宅供給タイプ）を活用した事業展開が検討されている。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和 7 年度は話し合いを行うことができなかったため、検討を進めている。

況	
事業の今後について	居住環境向上にとって市街地中央に整備が進められている根間公園（仮称）は有益な福利施設となることから、公園の徒歩圏内の民有地での集合住宅整備を目指す。

④ 下水道整備事業（宮古島市）

事業実施期間	令和5年度～令和6年度【済】
事業概要	住宅や観光客の増加により需要が増しているため、下里通りの公共下水道埋設工事を行う。
国の支援措置名及び支援期間	デジタル田園都市国家構想交付金（令和5年度～令和6年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	下水道整備による悪臭の除去によって快適で住みやすい住環境を作り、居住人口の増加に寄与する。
事業の今後について	令和6年度工事完了

●目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地の居住人口について、今後、空家対策事業やまちづくり会社による共同住宅事業を進めていくことや、周辺住環境の整備を行い住みやすいまちづくりを進めていく必要がある。そのために、都市福利施設の整備を行い、中心市街地内で完結する環境づくりを進めていく。